

当社では、健康経営に関わる数値の経年変化を観察し、効果検証や施策の見直しに役立てています。健康経営の最終的な目的指標はプレゼンティーズムおよびアブセンティーズムであり、その改善のために戦略マップに基づく各種指標の改善を図っています。

2022年度から2023年度にかけては、「精密検査」「特定保健指導」の原則受診を就業規則に追加し、保健師からの受診勧奨を継続した結果、受診率が向上しました。健康投資施策の取組み状況に関する指標は概ね向上し、社員の巻き込みを継続することができました。

また従業員の意識変容・行動変容に関する指標は、運動と飲酒・喫煙についての数値が向上しました。特に運動に関しては、保健師による働きかけやリモートワーク環境において、社員自身が課題と捉え、率先して取り組みました。社員の生活習慣改善や働きやすい職場環境作りが図られたという嬉しい結果となりました。そして健康関連の最終的な目的指標として、健康診断の有所見者の割合やワークエンゲージメント、高ストレス者率も改善しています。

しかしながら、プレゼンティーズム、アブセンティーズムは悪化してしまい、特にプレゼンティーズムは、特定の年代のみが悪化しており、それが全社数値にも影響を及ぼしました。今後、生産性低下要因を分析するアンケートを実施し、まずは2020年度の数値に戻すことを目標としつつ、改善できる施策の内容や方法についてはしっかりと見直しを図ってまいります。

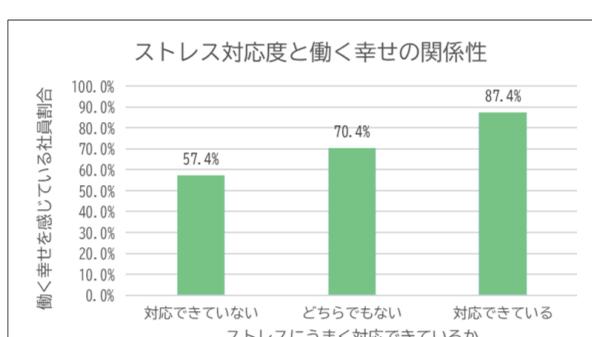
分類	指標	数値の理解	実績				目標			
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
<健康投資施策の取組状況に関する指標>	【施策1】 全社的な健康増進	定期健康診断受診率	高いほどGood	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		ストレスチェック受検率	高いほどGood	99.9%	100%	99.4%	98.8%	100%	100%	
		女性の健康セミナー参加率※1	高いほどGood	57.1%	50.6%	59.2%	59.2%	69.6% ※実績	80.0%	
		全社イベント参加率	高いほどGood	83.8%	84.1%	78.5%	90.4%	91.5% ※実績	92%	
		全社イベントの満足率	高いほどGood	—	—	—	67.0%	80.0% ※実績	82%	
		全社員健康面談実施率	高いほどGood	98.5%	100%	100%	100%	100%	100%	
	【施策2】 重症化予防	全社員健康面談満足率	高いほどGood	68.1%	72.0%	65.7%	80.7%	82.0%	85.0%	
		定期健康診断後の精密検査受診率	高いほどGood	61.1%	53.5%	65.0%	78.9%	80.0%	82.0%	
	【施策3】 多様な働き方	ハイリスク者の保健師面談実施率※2	高いほどGood	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		テレワーク実施率	高いほどGood	100.0%	100%	100%	100%	100%	100%	
		ひと月あたりの平均残業時間	高いほどBad	20.0h	21.0h	19.7h	20h	19h	18.5h	
		年次有給休暇取得率	高いほどGood	62.5%	71.0%	72.2%	69.3%	71.0%	73.0%	
育休取得率		男性	高いほどGood	33.3%	88.9%	53.8%	85.7%	90.0%	95.0%	
		女性	高いほどGood	100.0%	100%	100.0%	100.0%	100%	100.0%	
<従業員の意識変容・行動変容に関する指標>	個人の資源	ヘルスリテラシーの状況※3	健診・問診	高いほどGood	74.7%	78.9%	76.4%	76.0%	78.0%	80.0%
		健康アンケート	高いほどGood	—	—	—	3.65	3.70	3.75	
		ストレス対応の状況※4	高いほどGood	—	—	—	60.2%	—	—	
	仕事の資源	上司の支援※5	高いほどGood	8.68	8.75	8.81	8.92	9.00	9.00	
		同僚の支援※6	高いほどGood	8.60	8.65	8.78	8.84	9.00	9.00	
		個人の尊重（心理的安全性）※7	高いほどGood	2.88	2.92	2.91	2.98	3.10	3.10	
		職場一体感※8	高いほどGood	2.97	3.02	3.03	3.06	3.15	3.15	
		変化への対応（組織に対する満足度）※9	高いほどGood	2.67	2.74	2.63	2.73	3.00	3.00	
		ワークライフバランスの状況※10	高いほどGood	76	77	77	78	80 ※実績	82	
	生活習慣	【運動習慣】日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合	高いほどGood	25.6%	25.9%	27.0%	30.9%	33.0%	35.0%	
		【食習慣】就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある人の割合	高いほどBad	19.0%	17.4%	18.4%	19.0%	18.0%	17.0%	
		【睡眠習慣】睡眠で休養が十分とれている人の割合	高いほどGood	72.0%	73.8%	73.0%	68.2%	72.0%	75.0%	
【飲酒習慣】飲酒頻度が時々または毎日かつ飲酒日の1日当たりの飲酒量が清酒換算で2合以上の人の割合		高いほどBad	19.9%	16.9%	18.6%	16.5%	15.0%	13.0%		
【喫煙習慣】タバコを吸っている人の割合		高いほどBad	19.2%	15.9%	15.7%	12.6%	10.0%	0.0%		
【ハイリスク者の管理】		高いほどGood	72.0%	82.4%	78.2%	87.9%	90.0%	92.0%		
<健康関連の最終的な目的指標>	心身の健康状態	高血圧者のうち治療中の社員割合※11	高いほどBad	72.1%	74.3%	73.6%	72.4%	70.5%	68.0%	
		高ストレス者率	高いほどBad	8.7%	7.4%	7.8%	7.0%	6.8%	6.5%	
	働く幸せ	働く幸せ※13	高いほどGood	—	—	74.0%	77.9%	80.0%	82.0%	
	業務パフォーマンス	ワークエンゲージメントの状況※14	スコア	高いほどGood	73	75	76	78	79 ※実績	80
			回答率と測定人数	高いほどGood	93.7% (583名)	95.7% (610名)	96.0% (645名)	94.5% (717名)	93.3% (780名)	100%
		プレゼンティーズム損失割合※15	スコア	高いほどBad	10.5%	11.0%	12.4%	12.9%	11.0%	10.0%
			回答率と測定人数	高いほどGood	89.0% (534名)	90.4% (564名)	87.4% (589名)	95.8% (715名)	100%	100%
	アブセンティーズム損失割合※16	スコア	高いほどBad	3.7日/年	3.8日/年	4.5日/年	4.8日/年	4.5日/年	4.0日/年	
		回答率と測定人数	高いほどGood	89.0% (534名)	90.4% (564名)	87.4% (589名)	95.8% (715名)	100%	100%	
	休職・離職	正社員の傷病による休職者率	高いほどBad	0.7%	1.3%	1.0%	0.8%	—	—	
		正社員の平均勤続年数	高いほどGood	7.5年	7.9年	7.7年	7.7年	0.0%	—	
	<労働安全衛生に関する指標>	労働災害	労働災害、死亡災害件数	高いほどBad	0件	0件	0件	1件	0件	

- ※1 ハイリスク者とは、健康診断結果において厚生労働省が定める受診勧奨判定値の対象になる人を指す。
- ※2 高血圧者のうち治療中の社員割合とは、健康診断の間診において「血圧を下げる薬を服用している」を選択した社員数を①、血圧を下げる薬を服用していないが収縮期血圧 160 mmHg以上または拡張期血圧 100 mmHg以上にあてはまる社員数を②としたときに、①÷(①+②)で求められる割合を指す。
- ※3 問診の運動・食事・睡眠・飲酒・喫煙の5項目において望ましい行動をとれている場合を1点、そうでない場合を0点とし、社員ごとに合計5点満点の生活習慣レベルを算出。合計3点以下かつ行動変容ステージが無関心期・関心期の社員がヘルスリテラシーが低いと定義し、それ以外の社員割合を算出。
健康アンケートの病気や健康に関連した情報の収集・選択・伝達・判断・行動力5項目において、自分自身で探したり、利用したりすることができるかという設問に、強くそう思う5点、まあそう思う4点、どちらでもない3点、あまりそう思わない2点、まったくそう思わない1点で点数付けし、5項目の点数平均を算出
- ※4 健康アンケートの「仕事や私生活等における精神的なストレスとうまく付き合うことができているか」の設問に対して、強くそう思う、まあそう思う、と回答した社員割合を算出
- ※5 新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）の「次の人たちとはどのくらい気軽に話せますか」「あなたが困ったとき次の人達はどのくらい頼りになりますか」「あなたの個人的な問題を相談したら次の人達はどのくらい聞いてくれますか」の上司に関する3設問の合計平均を算出（そうだ=4点、まあそうだ=3点、ややちがう=2点、ちがう=1点）
- ※6 新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）の「次の人たちとはどのくらい気軽に話せますか」「あなたが困ったとき次の人達はどのくらい頼りになりますか」「あなたの個人的な問題を相談したら次の人達はどのくらい聞いてくれますか」の同僚に関する3設問の合計平均を算出（そうだ=4点、まあそうだ=3点、ややちがう=2点、ちがう=1点）
- ※7 新職業性ストレス簡易調査票（80項目版）の「職場や仕事で変化があるときには、従業員の意見が聞かれている」の設問に対する回答を点数化して回答者平均を算出（そうだ=4点、まあそうだ=3点、ややちがう=2点、ちがう=1点）。
- ※8 「私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている」の設問に対して「とてもそう思う」「そう思う」「どちらかというそう思う」と回答した割合を算出。
- ※9 健康診断の有所見者の割合とは、健康診断結果において厚生労働省が定める保健指導判定値、受診勧奨判定値の対象になる人を指す。
- ※10 株式会社アトラエのwevoxを活用し四半期に1回測定しており、年4回の測定平均値を指標化している。
- ※11 高血圧者のうち治療中の社員割合とは、健康診断の間診において「血圧を下げる薬を服用している」を選択した社員数を①、血圧を下げる薬を服用していないが収縮期血圧 160 mmHg以上または拡張期血圧 100 mmHg以上にあてはまる社員数を②としたときに、①÷(①+②)で求められる割合を指す。
- ※12 健康診断の有所見者の割合とは、健康診断結果において厚生労働省が定める保健指導判定値、受診勧奨判定値の対象になる人を指す。
- ※13 「私は、はたらくことを通じて、幸せを感じている」の設問に対して「とてもそう思う」「そう思う」「どちらかというそう思う」と回答した割合を算出。
- ※14 株式会社アトラエのwevoxを活用し四半期に1回測定しており、年4回の測定平均値を指標化している。
- ※15 WHO-HPQにおける相対的プレゼンティーズムの平均値
- ※16 病気や体調不良によって勤務日を休んだ日数の平均値

健康経営の取組みに関するアンケート

年に1回、健康経営に関するアンケートを行い、会社の健康経営の取り組みに対する理解度や関心、要望等を把握しています。また2023年度は、記名式で収集し様々な健康データとクロス分析を実施しました。（回答者：289名）

その結果、ストレスに上手に対応できている社員においては、働く幸せを感じる割合が高いことが分かりました。今後ストレスへの対処法などについての教育を強化することで、働く幸せを感じる社員割合を高めていきたいと考えています。



またアンケートによると、会社が健康経営に取り組んでいる、且つ社員と会社が健康経営に取り組むことで社員の心身の健康以外にも企業価値向上等のメリットがあると思う、と答えた社員の割合が85.5%となり、2022年度の80.5%から更に5%上昇しました。会社が健康経営に取り組むことを有意義だと考える社員が多く社員1人ひとりに健康経営が浸透していることを再確認できました。

今後も同様のアンケートを継続し、しっかりと社員からの評価を確認しながら健康経営の取組みを深化させていきます。

